

# 支 援

町田市教育委員会  
指導課長 小池 慎一郎

## 2011年度 第2回 小学校地区別・中学校合同ミーティングが開催される

今年度2回目の小学校地区別・中学校合同VC（ボランティアコーディネーター）ミーティングを開催させていただきました。第2地区（忠生地区）は今後実施の予定、第1地区（相原・小山地区）は3回目の開催でした。今回のVCミーティングはこれまでと違った趣が感じられました。



1/23（月）小学校1地区（小山田小）小10名・他1名



1/24（火）小学校3地区（鶴川四小）小9名



1/25（水）小学校5地区（成瀬台小）小9名



1/27（金）小学校第4地区（町田二小）小8名



1/31（火）小学校6地区（南四小）小7名・中1名



2/2（木）中学校（教育センター）中16名

中学校のVCミーティングはこれまでよりも参加校・参加者ともに多く、以下のようなことを中心に熱心に話し合われました。

- ・補習学習の進め方（生徒の集め方、どんな方をボランティアとして願うか）
  - ・部活動体験などの小学校と中学校とが連携した活動の進め方
- など、より具体的な内容に踏み込んだ話し合いでした。

小学校では、紙面で実践を報告し、下記の内容について話し合いました。

- ・学区が似た地域でのミーティングも開催したい、秋に行われている小中交流会で学校・地域連携部会を設置してもらい、VCも参加できるとよい。
- ・なかなか学校とのコミュニケーションがとれない。VCは、授業にどこまで関わってよいのか？  
→VCのタイプ・やり方に違いはありますが、こまめに職員室に顔を出して、教員の会話に加わる中から、企画が生まれたい要望が寄せられたりすることもある（VCより）。  
→学年や担任によってタイプはさまざまなので、コーディネートにおのずと違いが必要（VCより）。  
→細部まで詰めてくれる教員もいますが、そうでないケースもあります。そうでない場合、VCの経験にもよりますが、ゲストティーチャーと連絡を取りながらある程度組み立て、「これでどうでしょうか」と提案するやり方もあるのではないのでしょうか（学校支援センター）。
- ・学生が多く活動している学校では、その日の出欠を確認して、活動内容を教員と相談している。
- ・人材情報の照会  
→ミーティングの場で情報交換が行われました。
- ・各学校で取り組んでいる活動一覧があったらよい。  
→学校支援センターでは分野別人材一覧表を含めて、活動一覧作成に向けて取り組みます。

今回の会場校の皆さんには暖房の準備、会場の確保、各校への連絡調整など、大変お世話になりました。ありがとうございました。

#### ※来年度第1回小学校地区別・中学校合同VCミーティング 予定会場

1地区：大戸小      2地区：忠生小      3地区：鶴川一小      4地区：町田三小  
5地区：成瀬中央小      6地区：南一小      中学校：教育センター

## 2012年度 教育課程説明会に参加して

先日、来年度の各学校の教育課程作成・届出に関する説明会があり、指導課の許可を受け参加させていただきました。後半の小中別説明では、中学校の内容を聞きました。新学習指導要領が小中学校とも完全実施になることもあり、内容を知っておくことは皆さんにいろいろとお話をさせていただく際、重要だと思ったからです。

説明を聞いていて、土曜日や夏休みなど休業中に授業を行う際は地域に公開が原則で、「月に何回行うかは学校の教育計画に任される」などの留意点がよくわかりました。

中学校VCの皆さんも、保健体育科の武道・ダンス、技術・家庭科の保育体験の必修化など、来年度の活動の参考にするために、これまでとの変更点などを中心に、管理職や担当者と打ち合わせすることをお勧めします。

## 町田第一小学校の読み聞かせボランティア

いろいろな学校で、読み聞かせの授業を行っていることと思います。今回、町田第一小学校より読み聞かせの授業を行いますという連絡を受け、参観に行ってきました。「NPO 法人 まちだ語り手の会」より3名の方がお越しくださり、「とめ吉のとまらぬしゃっくり」など、3つのお話をしてくださいました。子どもたちは私語一つなく、時々笑いながら真剣に聞いていました。初めて聞くお話が多かったのかもしれません。

「お話を聞くときは感性で聞き、読書は理解力で読むのかな」とか、「日本のお話には仏教説話や落語の話芸に通じる部分があるが、ヨーロッパのお話のベースはなんだろう」など、これまで思ったことのないことが思い浮かびました。

保護者ボランティアを含めた担当者決めや絵本選びなどご苦勞をおかけしますが、これからもよろしくお願ひします。



## 町田に残っていた養蚕の年中行事「繭玉飾り」

私用で出かけた図師町の谷戸の奥で、以前お世話になった佐藤さんという方に偶然お会いして、「町田では何の木の枝で繭玉飾りを作っていたのですか？」とお聞きしたところ、「今、自宅に飾ってありますよ。よかったらどうぞ」と見せていただくことになりました。

私がイメージしていたものと全く違って、すばらしく堂々とした繭玉飾りでした。かしの木を切り、葉のついたままところどころの小枝を折り、団子やみかんをさしてありました。木の根元は、さかさまにした石臼の穴にさして、割り箸をはさんで固定してあり、その高さは2メートル近くありました。飾りの後ろの掛け軸には養蚕の神様が描かれており、右後ろには養蚕で桑の枝を束ねる際に使う新しい縄が飾られています。お供えは、豆粥、おおきな鏡餅等です（写真参照）。



そのすばらしさに圧倒されると同時に、町田でいかに養蚕が大切な生業だったかがひしひしと伝わってきました。以前、養蚕をお話してくださる方、養蚕の様子を見せてくださる方がいないかという照会を受け探してみましたが、都内にはほとんど残っていませんでした。町田では養蚕が消滅したのかと思っていましたが、佐藤さん宅では秋蚕を少し育てているそうです。

町田市内で、蚕を育てる学習をしている学校は多くあると思います。学区内にも、小正月に同じような繭玉飾りをしている方がおられるかもしれません。蚕を育てるのは理科の学習ですが、この様な伝統を学ぶのは社会科の学習です。まだまだ、地域にはこの様な貴重な教材があるのではないのでしょうか。

日本人としてのアイデンティティーを身に付けるために生け花、茶道を学ぶように、町田の人間としてのアイデンティティーを身に付けるために、もっと地域の教材を掘り起こし学ばせたいと思いました。

写真は提供できますので、ご要望の方は学校支援センターにご連絡ください。

## 成瀬台小学校 1年 生活科「小刀体験」

成瀬台小学校と成瀬台地区の高齢者団体「きらく会」等とのジョイント企画である「小刀体験」が、今年も行われました。当日は半年振りくらいの大雨で、ボランティアを予定されていたすべての方が参加できませんでしたが、それでも男性の高齢者（子どもたちにとってはおじいちゃん）が40名ほど、ボランティアとして小刀を使って鉛筆を削る指導を行っていただきました。

安全に気をつけながら、マンツーマンで鉛筆を削らせます。ほとんどの子どもが初めての体験のようで、真剣に取り組んでいました。今回で6年目の歴史ある企画で、左利きの子どもに教えることのできる方もいて、左利き用の小刀も準備されていました。「きらく会」の女性の方々は、6年生の茶道・生け花体験で指導してくださっているとのことでした。

ボランティアの方々は、指導後、子どもたちから削った鉛筆で書いたお礼のカードをもらい「家に飾っておくよ」と喜んでおいででした。「この授業のあとで、毎年、登下校で会ったとき遠くからでも自分を見つけ、大きな声で挨拶してくれる」「中学生になっても覚えてくれていて挨拶してくれる」とおっしゃっておられました。

そもそもこの団体は、かつて成瀬台住宅街ができたとき、地方から呼び寄せられた高齢者が、話し相手も思い出も地方に置いてきてさびしそうにされていた状況から、みんなが集まり話ができる場所を学校にお願いしたところ、当時の校長先生が多目的教室を開放してくださり、そこでの話の中から生まれた企画だそうです。皆さん、無償でやっただけでいるそうです。

今回参観させていただいて、学校支援ボランティアの原点を見た思いでした。地域との連携を着実に積み重ねていけば、学校支援ボランティア活動は大丈夫だと思います。



## ～事務連絡～

### <感謝状贈呈式 迫る>

先日開催された定例教育委員会で、感謝状贈呈者が決定いたしました。それを受けて、感謝状贈呈式が2月20日（月）午後2時より市民フォーラム3階ホールで行われます。その中で、南つくし野小学校、相原小学校、金井中学校のVCが実践報告をいたします。さらに、東京学芸大学の松田恵示教授が、「つながりをコーディネートするために」と題して、記念講演を行います。

担当教員やVCの皆さんは学校から参加希望を既に尋ねられたかと思いますが、大いに参考になると思いますので、ご都合がおつきでしたら学校支援センターにご連絡ください。

### <2012年度当初の予定が決まりました>

町田市教育委員会のVCに関する年度当初の予定が知らされました。それによりますと、学校関係者出席の指導課事業説明会が4月9日（月）で、VC説明会が4月11日（水）に予定されています。ご出席いただけますよう、ご予定をよろしくお願ひします。